

「まちづくりの取組報告」

豊中市新千里北町地域自治協議会 副会長 浅野 博光

活動を通して見えてきたこと

▶ 小学校は地域活動のフィールドである

地域の従来の小学校活用

- イベントで学校施設を使う 夏祭り、市民体育祭、防災訓練、敬老の集い
- スポーツで学校施設を使う 野球クラブ、ミニバスケットクラブ
- 小学生の課外教育を行う 地域こども教室

地域の新しい小学校活用

施設整備交流

- ・管理が行き届かない空き校庭、空き教室、汚れた壁などの学校施設を整備するイベントや日常的な活動で交流する

日常交流：おとなが通う学校

- ・日常的に地域の大人が入り出る、おとなが通う場（畑サロン）にすることで人の目が多くなり安全性が高まる（ネームカードで識別）
- ・子どもの通いやすい立地＝大人も通いやすい

世代間交流

- ・小学校は世代間のつながりのある地域のタイムカプセル
- ・就学前の子供が学校に慣れ親しむことができ、進学しやすくなる
- ・大人は子供から活力を、子供は大人から知恵を得る

活動を通して見えてきたこと

▶ イベントをつくることがイベントである

- ・イベントのお客さんではなく、作り手側として参加するイベント
- ・イベントを作る過程で密度の高い交流ができる
- ・スタッフの役割を体験することで成長する

▶ イベントがイベントを生み出す

- ・イベントのノウハウ、人脈、資材が資産となり、次のイベントを誘発する。
- ・イベントが発生しやすい雰囲気生まれ、次のイベントが連鎖する。

▶ 新しい企画に新しい住民、人材が登場する

- ・畑サロンでは地域の畑好きの人、野菜に詳しい人、花壇に詳しい人、竹に詳しい人
- ・イベント祭りでは子どもリーダー、地元デザイナー、協力ボランティア

次の担い手問題解決のヒント

▶ 新しい魅力的な事業を楽しく企画実行する

魅力を感じた地域住民が企画段階から楽しく参加する

新しい人材が登場する

新しい魅力的な事業を楽しく企画実行する

地域活動スタッフとして成長する

既存事業を含めた次代の担い手に

▶ 地域が活発に動いていると有志による自主活動を誘発する

自主活動を協議会が支援する

自主活動を地域活動化し、有志を協議会スタッフに

交流拠点 交流イベント

みんなの居場所と出番のある町

小学校は交流装置の宝庫

新たな活動を誘発し、連鎖していく町

人モノ体験環境

愛着要素の多い町 = 私たちの町

新千里北町のビジョン

人とつながる 未来につなげる 住みよい北町